

Ⅲ 各取組について

1 「地域学習」の観点をもった実践

(1) 本校が取り組む「地域学習」と教育課程

本校の特色である宇治市の中心部にある立地条件を生かし、共生社会の形成に貢献する学校として、開校以来、地域社会と協働した学習である「地域学習」を教育活動に位置付けて実践を進めてきました（資料編P65～68 参照）。

地域社会と協働した学習、すなわち地域学習は社会科や総合的な学習の時間等に位置付けられて全国的にも実践されています。本校では、以下に述べる「地域学習」の観点を本校の教育課程の中核を成す各教科等を合わせた指導に積極的に取り入れ、まず学校内で読み書き等の基礎的・基本的な学力や、あいさつや相手と気持ちを共有するなどのコミュニケーション力を身に付け、それらを実際に地域の人と活動する場面で発揮できるようにしています。そして、そこでの達成感や新たな課題を再び学校での様々な実践に返し、繰り返して取り組むことから実際に使える力へと高めることが大切であると考えてきました。

(2) 宇治支援学校の「地域学習」の観点

本校における「地域学習」の観点は、大きく分けて3点あります。

1点目は、「地域を知る・学ぶ」です。これは、全国的に実践されている地域学習の内容と同じく、地域にある施設・公共交通機関の利用方法や地域の名産である茶産業など、児童生徒が生活している地域について、調べ学習や体験的学習をとおして具体的に学びます。調べたことをまとめたり発表したり、実際に出かけて地域リソースを活用したりと発展的に学習が展開されます。

2点目は「将来の地域生活の質を高める力にする」、3点目が地域社会に、「障害のある児童生徒の理解を広げる」です。これらが宇治支援学校の「地域学習」の特色であり、様々な「各教科等を合わせた指導」の学習の中で、これらの観点を意識して学習に取り組むことが本校の教育の大きな特色です。

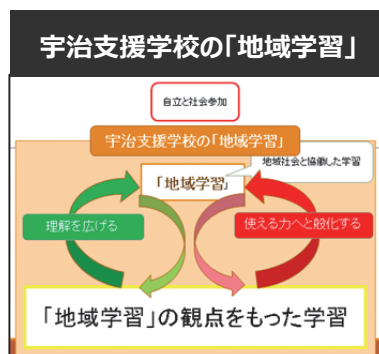


(3) 「地域学習」の観点を意識した実践

「将来の地域生活の質を高める力にする」で大切にしていることは、学校で付けた力を将来の地域生活において自分で生活を豊かにできる力に高めるという意識を指導者がもち、指導を進めることです。

自分の生活に必要な買い物ができる力を身に付けることをねらった「地域学習」で力を発揮するためには、普段から、お金の計算ができる、欲しいものを相手に伝える、交通ルールを守るといった学習に校内で取り組む必要があります。指導者が、こうした普段の指導において、将来の地域生活を豊かにすることを念頭に置き指導を進めることこそが、「地域学習」において力を発揮し、そして、将来の地域生活の質を高める力につながるものが今年度、明らかになってきました。また、「地域学習」とおして、「うまくできた達成感」、「伝わった喜び」、「ほめられるうれしさ」といった、学習の土台となる意欲や気持ちが育っていくことが分かりました。こうした意欲や気持ちの育ちが、自ら家庭でお手伝いをする姿や主体的に友達と協力する姿などにつながると考えられます。

「障害のある児童生徒の理解を広げる」では、地域と協働する学習をとおして、障害のある児童生徒が必要な支援を受けながら、同じ一人の人間として、自立と社会参加をめざして生き生きと学習や生活をしている姿を知っていただく機会となっています。地域の方からは「あいさつが気持ちよくて、元気をもらえます。」や「子ども達の真剣な表情が印象的です。」といった声や、「去年から成長した子ども達に会えて嬉しかったです。」という自分達自身の楽しみにして下さる声が増えてきています。本校の教育や障害のある児童生徒への理解が広まってきたことで、児童生徒が地域社会で生活する土壌がより豊かになってきていると実感しています。



地域と協働することだけを目的にせず、地域と協働するために児童生徒にどのような力が必要か、どのようなステップや教材が必要かを学習指導案に「地域学習の観点」の項目を設け具体化してきました。地域学習支援担当は、そのために必要な地域資源を開拓し、外部団体等と学部、学級へのつなぎを大切にしてきました。外部団体と協働する機会が増え、学校への信頼や期待も高まってきていると感じます。「地域学習」とおして、「喜びはともにあること」の教育理念を実現できる手応えを感じています。

小学部---单元名【わくわく音楽会】---あそびの指導

小学部 1～7組

* 協力団体 : 和太鼓サークル“渦”

* 内容 : 和太鼓の鑑賞、演奏



【ねらい】

- ・ 力強い音色や演奏に興味をもって聞く。
- ・ 音色や振動を感じる。
- ・ 嬉しい気持ちや楽しい気持ちを様々な表現で伝えることができる。

地域学習の観点をもった学習

あそびの指導	あそびの指導	自立活動
人やものに向かう力…学習活動に自発的に参加する。	協力…友達や指導者と一緒に活動する。	身体の動き…適切な姿勢を保持する。

【児童生徒の様子やその後の変化・つながり】

- ・ 自ら手をたたいたり手を振り上げるなど音を感じて自然に身体を動かす姿が見られた。
- ・ 声掛けを受けにこやかに対応するなど、自らかかわろうとする姿が見られた。
- ・ 演奏中は真剣な表情で聴き、演奏が終わると笑顔になって、しっかりと音色や演奏に興味をもつことができていた。
- ・ 代表で「お礼の言葉」を言った児童は、自分の役割が分かって張り切り、実際の場面では少し緊張しながらもしっかりと「ありがとう」と言うことができていた。



地域の声

一緒に活動することで、気付けば自然と顔がほころんでいます。心から楽しんでもらえていて、子ども達からパワーをもらっています!!

小学部---单元名【のびのびタイム】---特別活動

小学部 1～7組・訪問、小学部 1～3年、小学部 4～6年

*協力団体：ゆめハウス

*内 容：身体表現、手遊び、楽器遊び



【ねらい】

- ・音楽や身体表現を楽しみ、様々な人とのかかわりを広げる。
- ・司会や道具準備などの役割を意識して参加できる。

地域学習の観点をもった学習		
日常生活の指導	あそびの指導	生活単元学習
社会性…自分からあいさつする。	人とのかかわり…友達を意識して活動する。	役割…学部行事での司会を遂行する。



【児童生徒の様子やその後の変化・つながり】

- ・何度も繰り返し活動することで、友達同士で歌遊びができたり、一緒に手をつないで活動したりする場面が見られた。
- ・大きな集団での活動への抵抗感が和らいで、回を重ねるごとに参加できる児童が増えている。
- ・グループの代表として授業の準備を行うことで、主体的に活動ができるようになった。



地域の声

流れをしっかり覚えていて、楽器の準備や片付けを手伝ってくれることも嬉しいです。休日に街で、宇治支援学校の子どもさんに声を掛けられたことが嬉しかったです!!